

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	50	0	0	50	
総合力指標	知識・技術力	0	5	0	0	30	35
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	15	0	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	15	0	0	0	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	2つ（初稿、修正稿）のレポートの提出を求める。 体裁、内容、表現力等により評価する。第 14 回に、評価基準を明記したルーブリックを配布する。（各 25 点満点で計 50 点満点）				提出されたレポートを添削し、コメントと評価点を付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	第 6、7、9、10、11、12 回で、レポート作成につながる課題を課し、評価する。（各 5 点満点で計 30 点満点）				課題:コメントと評価点を付して返却する。
	②	✓					
	③	✓	授業への取組み（実験者および実験参加者としてふさわしい態度、グループワークでの積極的な意見交換など）を総合的に評価する。（20 点満点）				授業への取組み:講義中に総評を行う。
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	公認心理師資格を有し、2年の心理査定業務の経験がある。						
実践的授業の内容	専門性とこれまでの研究活動をもとに、受講生がイメージしやすい心理学研究の具体例や実践例を交えながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> データを適切に分析し解釈するためには統計学の知識が肝要である。総合基礎科目領域の「統計学」も履修することを推奨する。 第1回のオリエンテーションにて講義の進め方に関する重要なアナウンスを行う。履修予定者は必ず出席すること。公欠等やむを得ない理由で出席できない場合は必ず事前に担当教員に連絡すること。 レポート作成にあたり、生成 AI の出力結果を利用することを禁止する。これに反した場合は未提出と同等の扱いとする。 						